

橋本真那 Mana HASHIMOTO

ダンスは言語や世代を超える！新たな世界に出逢うきっかけは日常のすぐそばにあります。身体を自由に開放し、想像力を豊かにふくらませ、まだ誰も知らない自分自身の可能性を一緒に探してみませんか。



Photo: Franco Wang



Photo: 阿部修一郎



Photo: Hung Meng Chen

プロフィール

神奈川県出身。国立台湾芸術大学舞踊学科卒業。東京藝術大学美術研究科先端芸術表現専攻在籍。他者を通じて自己を知ることが創作の軸とし、コンテンポラリーダンスを用いたパフォーマンス作品の制作や交流プロジェクトの実施を行う。主な作品として「パトリオティズム」(YDC/2021)、「DEAR NEIGHBOR (COMMA)」(BUoY/2024)など。2019年日台文化交流青少年スカラシップ大賞、2021年ヨコハマダンスコレクション新人振付家部門奨励賞などを受賞。クマ財団8期生。急な坂スタジオサポートアーティスト。

ホームページ https://linktr.ee/zhen_na
連絡先(担当) 橋本真那
アーティスト在籍地 神奈川県横浜市
アーティスト出身地 神奈川県横浜市



Photo: Tadayuki Minamoto

活動歴

〈2021年〉 Taiwan Creative Dance Competition 受賞者公演 (高雄市立社会教育館)
〈2021年〉 ヨコハマダンスコレクション2021-DECファイナリスト公演 (にぎわい座のげシャール)
〈2022年〉 DAGUAN International Performing Arts Festival (国立台湾芸術大学)
〈2023年〉 「Millennium Dance」(国立台湾芸術大学)
〈2023年〉 Dance Base Yokohama レジデンスアーティスト
〈2024年〉 急な坂スタジオサポートアーティスト
〈2024年〉 クマ財団クリエイター奨励賞8期生
〈2024年〉 「Introduction Exhibition 2024」グループ展 (東京藝術大学)
〈2024年〉 「ATLAS展 2024」グループ展 (東京藝術大学)

〈2024年〉 「DEAR NEIGHBOR (COMMA)」 単独公演 (BUoY)
〈2025年〉 「夕暮れを待つ星」 グループ展 (クマ財団ギャラリー)

受賞歴

〈2019年〉 第16回日台文化交流青少年スカラシップ大賞
〈2020年〉 文教大学パブリシティ・オブ・ザ・イヤー 2019学生部門賞
〈2021年〉 ヨコハマダンスコレクション2021-DEC新人振付家部門奨励賞
〈2021年〉 Taiwan Creative Dance Competition 優秀賞 (出演)

ワークショップ歴

〈2022年〉 「はじめてのコンテ・ワークショップ」台湾の小中学生を対象に4校で実施。主催：国立台湾芸術大学

〈2023年〉 「創作ダンスってどうやるの？」会場：台北日本人学校 対象：中学2年生
〈2022年~24年〉 「踊る、隣人と」日本・台湾両国においてこれまでに4回実施。対象：学生、一般
〈2024年〉 「話しあうためのやさしいおどり」国際、福祉、地域のテーマに分けて三か所で開催。会場：東京藝術大学芸術未来研究所/東京藝術大学取手校地/いこいの+Tappino 対象：一般
〈2025年〉 「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」会場：横浜市立瀬谷第二小学校 対象：小学3年生 主催：横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①「創作ダンスってどうやるの？」

学校体育でダンスを行う小・中・高校生を対象に、創作について基礎から学べるレクチャープログラムです。具体的な創作方法の手段やコツ、また日常からアイデアを見つけるヒントなどを実演や体験ワークを交えながらお伝えしていきます。

②「からだでつくる！私たちの物語」

「言葉のない世界で表現してみること」をテーマとしたプログラムです。言葉の意味に頼りすぎず、自分なりの表現を工夫しながら、相手とのコミュニケーションを試みます。また自身の物語を互いに見せ合うことで「自分の表現が伝わった」「みんなに見てもらえた」という肯定感を育むことを目的とします。

▶アシスタントの有無：1名

▶参加適正人数：①20~30名程度 ②10~20名程度

▶1日の実施可能回数・時間：最大3コマ ※1コマ45~60分

▶必要機材：①モニターもしくはプロジェクター②なし

公募ワークショップ

①「話しあうためのやさしいおどり」

言葉のない世界を想定し、身体をつかって新たなコミュニケーションの形を追求するワークショップです。普段は無意識な仕草や表情に注目し、言葉ににくい感情を気軽に表せる「やさしいおどり」を一緒につくります。ワークショップを通じて生まれた「やさしいおどり」は図鑑となり、対話を助ける新しいアイテムとして積み重なっていきます。

いアイテムとして積み重なっていきます。

②「ラジオ体操第〇〇(実施の日付)」

老若男女誰もが親しめる「ラジオ体操」を用いたダンスワークショップ。参加者の方々の身体の悩みやワークを通して生まれた動きを元に動きを発展させ、最終的には自分たちだけの新しいラジオ体操を創ります。

▶アシスタントの有無：1名

▶参加適正人数：10~20名程度

▶1日の実施可能回数・時間：最大2コマ ※1コマ45~60分

▶必要機材：可能であればスピーカー

▶対象：経験不当

この事業で可能な市民参加作品のスタイル

オリジナル作品

実施する地域をモチーフとして参加者の方々の個性や土地の特性を生かした作品を創ります。日常用品や地域特有の道具などを用いて想像力を自由にふくらませ、その土地、人々ならではの新たな表現を参加者のみなさんと一緒に探していきます。

▶上演時間：40~60分

▶出演者数：3名(登録アーティスト+共演者2名)

▶市民参加公演の形態：市民参加公演(クリエイションワークショップ参加者との協働作品)

▶クリエイションワークショップの参加(出演)人数・回数：10~15名程度・6~10回程度

▶同行スタッフ：演出助手1名

▶現地スタッフ：照明仕込み1名、音響1名、舞台監督1名

▶上演環境：

(1) 会場：8m×8m程度

(2) 床：リノリウム(ホール環境に対応)

(3) 必要機材・舞台セット：創作過程で相談

▶その他：作品内で使用する道具については事前にご相談させていただきたいです。

この事業で可能な公演作品

①「DEAR NEIGHBOR (COMMA)」

本作は作者が台湾で過ごした記憶をベースとして、日本でも多くの議論がなされてきた「台湾有事は日本有事」について身体的交流を通じて再考する試みです。様々な情報が行き交い国際情勢が一層複雑化する現代において、日常と非日常、そして当事者と非当事者の境界を生きる私たちにできることはなにか。良い隣人と呼ばれる台湾を通じて自国を見つめ直し、共に考える時間にしていきたいと思えます。

▶現地スタッフ：照明1名、音響1名、美術設営1名

▶上演環境：

(1) 会場：6m×6m程度

(2) 床：リノリウム黒(他の色でも対応可。)

(3) 必要機材：椅子2脚、机1台、スピーカー2~4台、照明スポット10台

こで行われる行為について再考する試みです。

▶上演時間：40分~60分(可変)

▶出演者数：3名(登録アーティスト+共演者)

▶同行スタッフ：演出助手1名

▶現地スタッフ：照明1名、美術設営1名、舞台監督1名

▶上演環境

(1) 会場：6m×6m程度

(2) 床：リノリウム黒(他の色でも対応可。)

②「A THEATER」

舞台は見る者にとって、常に自分自身を映す鏡として機能するものでありたい。このパフォーマンスでは劇場の要素：舞台、演者、客席、観客を用いて空間に劇場を構成します。それは見えない役割を与え、見えるようにしようとすることであり、劇場という空間とそ

この事業で挑戦してみたいこと

●誰もが親しみやすい日常の「仕草」や「ラジオ体操」を用いたワークショップでは、ダンスを楽しむ身近に感じてもらえるきっかけづくりを目的とします。また市民参加作品では非常にシンプルなタスクやルールを設けることで自由に発展する余地をつくり、参加者の方々の発想力や想像力を十分に生かした作品の創造を目指します。

●日常において心の片隅に転がっている石ころのような想いを見逃してしまわず、ダンスを通じてその小さな喜びや悲しみを拾うことで少し幸せな気持ちになったり、痛みを癒やしたりできるのではないかと考えます。参加者のみなさんと共に、身体表現の新たな表現と可能性を追求できることを期待します。